



多言語対応メンバーとして参加（多言語語学力基準）

◎言語レベル

レベル	熟練	上級	中上級
ガイドライン ※1	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
CEFR ※2	C2	C1	B2
英語	TOEIC 900点以上 TOEFL 600点以上 通訳案内士 Native	TOEIC 820点～900点未満 TOEFL 577点以上 英検 1級	TOEIC 730点～820点未満 TOEFL 550点以上 英検 準1級
中国語	HSK 6級 通訳案内士 Native	HSK 5級 中国語検定 1級	HSK 4級 中国語検定 準1級
韓国語	ハングル能力検定 1級 通訳案内士 Native	ハングル能力検定 2級 TOPIK 6級	ハングル能力検定 準2級 TOPIK 5級
フランス語	通訳案内士 Native	実用フランス語技能検定 1級	実用フランス語技能検定 準1級
ドイツ語	通訳案内士 Native	ドイツ語技能検定 1級	ドイツ語技能検定 準1級
スペイン語	通訳案内士 Native	スペイン語技能検定 1級	スペイン語技能検定 2級

※1 出典 プリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構

※2 CEFR Common European Framework of Reference for Languages

ヨーロッパ共通参照枠・・・言語の枠や国境を越えて、異なる試験を相互に比較することが出来る国際標準

◎日本語レベル（外国籍の方）

言語	指標	基準	実施団体
日本語	日本語能力試験	N2レベル以上	(財) 日本国際教育支援協会